

年間指導計画 1年書写

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
4月	① 読みやすく書くための楷書			
5月	漢字を分解してみよう (教科書 P38-39) ◎点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ]	毛筆 2	1 教科書のイラストを見て、漢字は点や画の組み合わせでできていることを確かめる。 2 漢字を構成する点画の名前と筆使いのポイントを確かめる。 3 穂先の向きと筆圧に気をつけて、小学校で学習した点画を毛筆で書く。	【知】点画の種類を確かめ、穂先の向きや筆圧などに注意して点画を書いている。 【思】点画を書くなかで、穂先の向きや筆圧などを確かめている。 【態】進んで(①)穂先の向きや筆圧などを確かめ(③)、学習課題に沿って(②)点画を書こうとしている(④)。
	漢字の筆使い (教科書 P40-43) ◎点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ]		1 漢字を構成する点画の名前を教科書に書き込む。 2 「学びのカギ」を見て、漢字の筆使いのポイントを確かめる。 3 漢字の筆使いに注意して、毛筆で「天地」を書く。 4 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「天地」「春風」「挑戦」を書く。	【知】点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。 【思】毛筆で「天地」を書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。 【態】進んで(①)漢字の筆使いに注意し(③)、学習課題に沿って(②)「天地」を書こうとしている(④)。
6月	楷書に調和する仮名(いろは歌) (教科書 P44-45) ◎楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)]	毛筆 2	1 「いろは歌」の成立や平仮名の字源について理解する。 2 「学びのカギ」を見て、楷書に調和する仮名の筆使いと字形のポイントを確かめる。 3 「結び」の筆使いを確かめる。 4 墨のすり方を確かめる。 5 楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、小筆で「いろは歌」を書く。	【知】楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。 【思】小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。 【態】積極的に(①)楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して(③)、学習課題に沿って(②)「いろは歌」を書こうとしている(④)。
	文字の大きさと配列(俳句) (教科書 P46-47) ◎文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)、(1)イ]	毛筆 2	1 教科書 P46 の「五月雨を…」を見て、読みやすくするために直すところを考え、教科書に書き込む。 2 「学びのカギ」を見て、文や文章を読みやすく書くための、文字の大きさと配列のポイントを確かめる。 3 文字の大きさと配列を意識して、小筆で「五月雨を…」を書く。	【知】文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 【思】決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。 【態】進んで(①)用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え(③)、学習課題に沿って(②)小筆で俳句を書こうとしている(④)。
7月	[コラム]文字の歴史を探る (教科書 P48-49) ◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)]	毛筆 1	1 漢字には 3000 年以上の歴史があり、時代とともにさまざまな書体が誕生したことを知る。 2 日本独自の文字である仮名が、漢字を元にして誕生したことを知る。 3 篆書・隷書・草書の身近な使用例を探し、文字について興味を深める。	【知】漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。 【思】文字の大まかな歴史を確かめている。 【態】積極的に(①)文字の歴史について知ろうとし(③)、学習課題に沿って(②)身近な使用例を調べようとしている(④)。
9月	② 読みやすく速く書くための行書			
	行書の特徴 (教科書 P50-51) ◎楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ]	毛筆 2	1 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ、話し合う。 2 書く速さを意識して、「緑」を一画ずつ丁寧に硬筆で書いた後、「緑」をできるだけ速く硬筆で書く。 3 「学びのカギ」を見て、行書の筆使いの特徴を理解する。	【知】楷書と行書の違いや、漢字の行書の筆使いの特徴を理解している。 【思】速さを意識して書き比べる活動のなかで、両者の違いを確かめている。 【態】積極的に(①)速く書いたときの文字の特徴を捉え(③)、学習の見通しをもって(②)楷書と行書の違いや行書の筆使いの特徴を見つけようとしている(④)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	行書スイッチを入れよう (教科書 P52-53) ◎漢字の行書の特徴を理解することができる。[知技(3)エ(ア)・(イ)、(1)イ、A(1)オ、(2)イ]		1 行書を書くときに意識する四つの「行書スイッチ」を知る。 2 行書で書かれた「緑」を指でなぞり、速く整えて書くための行書の特徴を確かめる。 3 「学びのカギ」を見て、行書の点画や筆順の特徴を理解する。 4 筆脈とは何かを知る。	【知】 漢字の行書の点画や筆順の特徴を理解している。 【思】 行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の点画や筆使いの特徴を確かめている。 【態】 積極的に(①)行書の点画や筆順の特徴を考え(③)、学習課題に沿って(②)速く整えて書くための行書の特徴を押さえようとしている(④)。
10月	点画の変化 (教科書 P54-57) ◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ)、(1)イ]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「大木」を比較して、点画(終筆の形)が変化している部分を鉛筆で囲み、形が変化する理由を話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、点画の終筆の形が変化する理由と、主な変化のしかたを確かめる。 3 行書には多様な書き方があることを理解する。 4 点画の終筆の形の変化を意識して、毛筆で「大木」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「大木」「天文」「北西」を書く。	【知】 漢字の行書の基礎的な書き方(点画の変化)を理解して、身近な文字を書いている。 【思】 毛筆で「大木」を書くなかで、行書の特徴<点画の変化>を確かめている。 【態】 進んで(①)行書の書き方(点画の変化)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「大木」を書こうとしている(④)。
11月 12月	点画の連続 (教科書 P58-61) ◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ)、(1)イ]	毛筆 3	1 楷書と行書で書かれた「日光」を比較して、点画が連続している部分を鉛筆で囲み、点画が連続する理由を話し合う。 2 「学びのカギ」を見て、点画が連続する理由と、主な連続のしかたを確かめる。 3 点画を連続させるときの留意点を理解する。 4 点画の連続を意識して、毛筆で「日光」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「日光」「文庫」「規則」を書く。	【知】 漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。 【思】 毛筆で「日光」を書くなかで、行書の特徴<点画の連続>を確かめている。 【態】 進んで(①)行書の書き方(点画の連続)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「日光」を書こうとしている(④)。
1月 2月 3月	【国語】季節のしおり① (教科書 P62-63) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)ア、エ(ア)・(イ)、(1)イ]	硬筆 1	1 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。 2 これまでに学習したこと(楷書の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列/行書の特徴)に注意して、季節の言葉を硬筆でなぞる。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。
	【国語】情報収集の達人になろう (教科書 P64) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア)、(1)イ] ○日常生活の中から課題を決め、情報を集めながら自分の考えをまとめることができる。[B(1)ア・イ]	適宜	1 テーマを決めて情報を集め、資料から正しく情報を読み取り、整理する。 2 教科書 P64 の例を見て、集めた情報をノートにまとめる書き方を理解する。 3 これまでに学習したこと(漢字の筆使い/楷書に調和する仮名/文字の大きさと配列)を生かして、ノートに記録する。	【知】 今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】 情報をノートに記録する活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。 【態】 進んで(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)集めた情報をノートにまとめようとしている(④)。